



感染症とたたかう

第14号

2017年
1月発行

発行：国立大学法人 長崎大学 監修：長崎大学病院 感染制御教育センター長・教授 泉川 公一
お問い合わせ：長崎大学熱帯医学研究所 〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4 TEL：095-819-7800（代表） FAX：095-819-7805

● 私たちの暮らしと感染症 ●

9歳以下の子どもに多い**水疱瘡** 予防効果の高いワクチン接種を



水痘帯状疱疹ウイルスが感染 次々に現れる発疹と強いかゆみ

38℃前後の発熱とともに全身に数百個の発疹が次々に現れ、かゆみを伴う水疱瘡（みずぼうそう）は、水痘帯状疱疹ウイルスによる感染症で、医学用語では水痘（すいとう）と言います。患者の9割以上が9歳以下の子どもで、毎年12月から翌年の7月にかけて患者が増えます。

ウイルスに感染すると、2週間程度の潜伏期間（感染してから症状が出るまでの期間）を経て、まず発熱や倦怠感、頭痛、腹痛などの症状が現れます。その後、小さな赤い発疹が次々と全身に現

れます。

この赤い発疹は丘疹（きゅうしん）と呼ばれます。最初は小さな赤い点に見えますが、徐々に大きくなり3～5mm程度になります。やがて丘疹は水泡（水ぶくれ）へと変化し、この水ぶくれは1日ほどで白い膿がたまる膿疱（のうほう）となります。そして、膿疱になってから3日程度でかさぶたとなって、徐々に治っていきます。一つの発疹がかさぶたになるまでの期間は1週間前後ですが、全身に現れた発疹すべてがかさぶたになるまでには3週間ほどかかります。

子どもにとって辛いのは、発熱だけでなく、丘疹から水ぶくれになるまでの間が非常にかゆいことです。言葉で表現ができない赤ちゃんはとて

も機嫌が悪くなります。また、体のあちらこちらにかゆみがあるので、小さな子どもは我慢できずに、かきくずしてしまうことがあります。水ぶくれをかきむしると、そこに細菌が入って化膿し、治りが遅くなってしまいます。また、水ぶくれの中には水痘带状疱疹ウイルスがいるので、周囲に広がったり、ほかの人にうつしたりする可能性があります。かいても破れないよう、爪は短く切っておきましょう。

かゆみを和らげる治療が中心 水泡があるときは外出を控える

水疱瘡にかかると、かゆみを和らげる治療（対症療法）や、ウイルスを増やさないようにする抗ウイルス療法を行います。

かゆみを抑える薬には、フェノール亜鉛華軟膏（カチリ）という白い塗り薬があります。発疹に塗ると白く固まり、かゆみを抑えるほか、かいても水ぶくれが破れないように保護する役割もあります。ただし、刺激が強いので、かきくずした傷には塗らないようにします。

飲み薬には、かゆみ止めの効果がある抗ヒスタミン薬が処方されることもあります。また、かゆみで皮膚をかきむしり、細菌感染により化膿した場合には抗菌薬（化膿止め）が使われます。

体内でのウイルスの増殖を抑える抗ウイルス薬が使われることもあります。症状が出てから48時間以内に服用すると、発疹や水疱が少なくなり、症状を和らげることができます。

水痘带状疱疹ウイルスは感染力がとても強く、家庭内で誰かがかかれば、ほかの家族に90%うつるとの報告もあります。症状が出たら外出は控え、保育園や幼稚園はお休みします。学校保健法

では、すべての発疹がかさぶたになるまで出席停止とされています。

1歳になったらワクチン接種を 大人の感染では重症になることも

ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染の3つです。感染を防ぐには、「手洗い」「うがい」「マスク着用」という、ほかの感染症と同じような対策が重要です。

水疱瘡の予防法の第一は、ワクチンを接種することです。水痘ワクチンは、1回の接種で90%以上の人が免疫を獲得できるという報告があります。1歳と2歳の子どもは無料で受けられる定期接種となっており、3カ月以上の間隔を置いて2回接種することになっています。水疱瘡にかかったことのある人は免疫を獲得していると考えられるので、基本的には定期接種の対象外となります。水痘ワクチンの定期接種は市町村が実施するものなので、詳しくはお住まいの市町村に問い合わせてください。

子どもの水疱瘡は一時的に、かゆみなどの症状が強くなりますが、命にかかわることはほとんどありません。ところが、大人になって初めて水疱瘡にかかると、子どもに比べて多くの水ぶくれができるほか、肺炎になる人が16~50%もいるなど、重症になることが少なくありません。子どものころに水疱瘡にかかったかどうかわからない人、ワクチン接種をしたことがない人は、ワクチン接種を受けることをお勧めします。

次号（2017年2月号）では
「ロタウイルス感染症」を取り上げます。